

平成27年度第10回宮城大学食産業学部 教授会（定例）議事録

開催場所	管理棟 大会議室	開催日時	平成27年11月11日（水）13:30～14:45
出席者	<p>38名／定数45名 (ファームビジネス学科) 齋藤(満)教授, 大竹教授, 小林教授, 井上教授, 木村教授, 森本教授, 中村(茂)教授, 中村(聡)教授, 岩井准教授, 須田准教授, 川島准教授, 日渡准教授, 紺屋講師, 齊藤(秀)助教 (フードビジネス学科) 石田教授, 川村教授, 西川教授, 老川准教授, 白川准教授, 毛利准教授, 森田准教授, 河西准教授, 菰田准教授, 金内准教授, 石川准教授, 小島准教授, 君塚准教授, 谷口助教, 木下助教 (環境システム学科) 富樫教授, 郷古教授, 北辻教授, 笠原教授, 原田(茂)教授, 原田(鉦)准教授, 神宮字准教授, 伊吹講師, 高橋助教 [欠席] ファーム; 菊地准教授 フード; 三石教授, 堀田准教授, 都准教授 環境; 岩堀教授, 千葉准教授, 柳澤助教</p>		
	(事務部) 千葉太白事務室長, 石澤室長補佐, 佐藤主幹, 岡崎主査		
議 事 内 容			
審議事項	<p>議事録署名人に学部長, 川島准教授を指名した。</p> <p>(1) 平成27年度第9回食産業学部教授会議事録の確認について 平成27年度第9回食産業学部教授会議事録については, 原案のとおり承認された。</p> <p>(2) 平成27年度後期他学部他学科履修について 石田教務委員長より資料1に基づいて, 平成27年度後期他学部他学科履修希望者2名の申請内容等が説明され, 原案のとおり承認された。</p> <p>(3) 学生の身分について 森本学生委員長より資料2に基づいて, 他大学受験申請者1名について受験理由等が説明され, 原案のとおり承認された。</p>		
報告事項	<p>(1) 平成28年度予算要求について 齋藤学部長より資料3に基づいて, 平成28年度予算について, 理事会から提示された予算編成の基本方針やスケジュールの概要が説明された。大学改革に伴い必要となる経費については改革案がより具現化するであろう12月に検討することとなるため, 従来分の教育経費については11月中に関係調書の取りまとめを行う予定であることが説明され, 具体的なスケジュール等については事務部から別途周知することが案内された。</p> <p>(2) 平成28年度非常勤講師任用計画について 石田教務委員長より別添資料1に基づいて, 前回の教授会で審議された平成28年度非常勤講師任用計画について, 各学科において検討及び修正を行ったものを理事会前の副学長によるヒアリングの資料として提出したことが説明された。</p> <p>(3) 全学委員会報告 ●教員評価専門委員会</p>		

原田委員長より資料7に基づいて、現在委員会で改善の検討を行っている個人集計シートへの記載を来週中に開始することで作業を進めていることが報告された。また、教員評価における教員データベースの位置付けと活用方法等について、現在の検討状況が説明された。

●学務入試委員会

石田委員より資料8に基づいて、シラバスの改善について変更点やスケジュールの概要が説明された。また、平成27年12月5日に開催される宮城大学 大学改革シンポジウムについて報告され、出席依頼がなされた。

●研究委員会

木村委員より資料10に基づいて、平成27年度の外部研究資金獲得状況が報告され、平成28年度科学研究費助成事業への応募について、手続きが未済となっていた教員あてに応募するよう通知がなされたことが説明された。

また、木村委員及び大竹農場長より附属農場の動物実験施設承認の新規申請に関し、事前審査における指摘事項を踏まえて改修を行った豚舎について、現在予定されている動物実験に使用する施設として承認されたことが報告された。さらに、平成24年に研究委員会で審議されていた「宮城大学食産業学部における放射線測定および放射性物質を含む試料の取扱いに関する申し合わせ」について、当時の案が差し戻しとなったため教授会で報告がなされていなかったが、平成25年4月に修正案を作成し平成25年10月30日の研究委員会で報告され、平成26年2月の研究委員会で承認されていたことが報告された。

●総合情報センター運営委員会

老川副センター長より資料14に基づいて、次期ネットワーク更新にあたり、仕様等の検討を行う勉強会を実施予定であることが説明され、各教員および学生等から要望を募る際の協力が依頼された。

●国際交流・留学生センター運営委員会

井上副センター長より資料15に基づいて、「官民共同海外留学支援制度～トビタテ！留学JAPAN 日本代表プログラム～」第4期の応募状況について、食産業学部フードビジネス学科から合計2名（希望留学先はマレーシア、フィンランド）の応募があり、今後平成28年1月にかけて審査が行われることが報告された。

(4) 学部委員会報告

●教務委員会

石田委員長より追加配布資料に基づいて、食産業学部で実施している学習支援について、当初はリメディアル科目を中心とした共通教育科目を対象として行っていたが、学生からの要望に応じ専門教育科目（マーケティング論）についても実施することとし、今後掲示等で周知することが報告され、学生への周知や参加の声がけについて協力が依頼された。

●学生委員会

森本委員長より資料17に基づいて、10月に実施したホームカミングデーへの協力についての感謝が述べられ、朝ごはんフェアの活動継続への協力が依頼された。

●キャリア開発部会

須田委員より資料18に基づいて、11月1日現在の就職内定率が報告され、最新の内定率は学部が94%となっていることが報告された。また、経団連が現在8月となっている採用選考の解禁日を来年度は6月に変更する方針を発表したことに関し、キャリア開発の授業等による対応状況について説明がなされた。

●入学試験委員会

笠原委員長より資料 19 に基づいて、10 月教授会において口頭で報告されていた平成 27 年 9 月 11 日に実施した編入学試験の結果について改めて報告がなされ、合格者全員が入学手続きを完了したことが報告された。また、平成 27 年 11 月 21 日に実施する推薦入試及び 12 月 12 日に実施する特別選抜（社会人・外国人留学生）入試について出願状況が報告され、実施への協力が依頼された。

●広報委員会

中村委員長より資料 20 に基づいて、全学ウェブサイトへの一本化に伴う食産業学部ウェブサイトの閉鎖について説明された。現在学部のウェブサイトに掲載されている研究紹介については、12 月教授会までに広報委員会で全学ウェブサイトへの移行準備を行い、移行を機に写真や文章等を変更する場合は各教員において修正を行った上で、1 月上旬までに全学ウェブサイトに掲載できるよう作業を進めることが報告された。これから大学入試センター試験の前後にかけて受験生の興味・関心が高まる時期となることから作業への協力が依頼された。

●大学間連携共同教育推進事業

郷古共同教育事業企画推進局副長より資料 21 に基づいて、大学間連携共同教育推進事業の運営組織構成図について当初の体制からの変更点を中心に説明がなされた。

●農場運営委員会

大竹農場長より資料 22 に基づいて、附属農場の家畜管理マニュアルの整備について説明がなされた。

●予算施設委員会

齋藤委員長より資料 23 に基づいて、機器の修繕について説明された。また、研究科教育費で予算措置されている学生会発表等旅費補助について、今年度の執行状況及び今後の申請予定の調査の結果、希望する学生に 2 度目の補助を実施することとなったことが報告された。

●実験安全管理委員会

岩井委員長より備品の廃棄に際し、廃棄備品の配置換え等による利用について希望がある場合は 11 月中に委員長または事務部あてに申出をすること、再利用等をせず廃棄する備品については備品シールを剥がす手続きを取ることが依頼された。

その他

イブニングセミナーの実施方法について質問があり、今年度は事前に教授会で企画内容等の報告がなされていなかったことから、参加者への周知のためにも次回から事前に教授会で地域連携センターから報告を行うこととなった。

齋藤学部長より公用車等の使用時の交通安全について、改めて交通法規を順守し交通事故を防止するよう依頼がなされた。

議事録署名人

齋藤 満保 印

川島 滋和 印